

オレンジカフェアンケート調査の結果 (R3年5月)

令和元年度に設置されたオレンジカフェ（町内4か所）に、参加したことがある方々に協力をお願いし、全体の約3割にあたる36人の方から回答を得ました。

- ①コロナ禍におけるオレンジカフェへの参加については、「参加する・したい」32人（88.9%）、「参加しない・したくない」1人（2.8%）、「わからない」3人（8.3%）でした。
- ②オレンジカフェに参加する・したい理由として、「講話が聞ける」22人（68.8%）が最も多く、次いで「情報が得られる」19人（59.4%）、「出かける機会が欲しい」18人（56.3%）、「人に会える」18人（56.3%）、「楽しみ」14人（43.8%）でした。
- ③コロナ禍における感染対策については、「感染リスク減少のため内容変更は仕方ない・理解できる」23人（63.9%）、「感染対策を徹底して開催してほしい」18人（50.0%）と、半数以上を占めていました。一方、「コロナ感染が収束するまで、カフェを開催すべきではない」6人（16.7%）もありました。

今回のアンケートでは、カフェについてのご意見・ご要望をたくさんいただきました。今後の運営に取り入れていきます。ありがとうございました。

梨枝子さんの今日、あした

心の中での会話を目指して



「おい、おい」と夫の声がした。トイレに行きたいと私を呼んでいたのだ。午前4時30分、「良く教えてくれたなあ〜」と話し、一緒にトイレに行き介助した。夜9時、午前2時、午前3時30分と、夫の動く気配で3回は起きて介助出来ていたが、4回目は起きることができなかった。

夕方5時から5時30分まで夕食、6時30分まで話しかけたりして寝る事にしている。早寝、早起き、ラジオ体操、朝ご飯が流れである。排便があるまで落ち着かず、多い時は10回程トイレ介助するのが毎日である。時々、「ウン」となる気持ちを抑えているが。夫の立場で今、私が一番にできる事はと考えると、排泄の介助をしている。

NHKの深夜放送は、介護や孫かてに活用できる内容が沢山ある。今年1月、尾木ママが「ありのまま今、輝いて、心の中での会話を大切にしたい」と話していた。「どうしたの？あまり無理しないで」と話したら、中学生が喫煙を止め、ピースをして卒業していったという内容であった。頭から叱るのではなく、側に居て、「どうしたの、そうなんだ」と傾聴してみよう。介護も同じである。

「ん、ん、ん、」声を出している。「あなた、どうしたの？」ゆっくり話し掛けてみよう。笑顔で答えてくれる夫である。 つづく

**令和3年度
認知症専門相談日**

時間：午前10時～12時・午後1時～3時
 場所：三戸町保健センター 集団指導室

令和3年 8月23日(月)	令和3年 9月27日(月)
令和3年 10月25日(月)	令和3年 11月22日(月)
令和3年 12月27日(月)	令和4年 1月24日(月)
令和4年 2月28日(月)	令和4年 3月28日(月)

「物忘れが激しい」、「これまで上手くできていたことができなくなった」など、ご自身で気になることはありませんか。また、ご家族や友人等で、心配に思うことはありませんか。

ひとりで悩まず、家族だけで抱え込まず、お気軽にご利用ください。

相談される際には、事前に日時を予約して下さるようお願いいたします。